

# 「家がいいね」 第71号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2010. 4. 13

生まれる、死ぬは、よく似ている

(チベット僧の師弟の対話)

小坊主「では、生まれてくることは、喜びではない、というのですか？」

老僧「死ぬことが、たんなる悲しみではないのと同じように、生まれることは、それだけで、嬉しいことではない」

小坊主「では、私たち、生まれてきてしまったものには、意味がないのですか？」

老僧「生と死のむこうにある、心の本質を知ることができたなら、その生には意味があったということになるし、それができなければ、無意味なことを積み重ねたことにすぎないだろう。お前はなにも知らずに生まれてきたが、今は生まれてきたことの意味を、知りはじめている」

小坊主「生まれること…死ぬこと…」

老僧「お前にいい言葉を教えてやろう。インド人が考えたものだ。」

誕生の時には、あなたが泣き、

全世界は喜びに沸く。

死ぬときには、全世界が泣き、

あなたは喜びにあふれる。

かくのごとく、生きることだ。

さあ、行こう」



中沢新一 三万年の死の教え(角川文庫)から

チベット「死者の書」の世界

これも何かの縁、さあどうぞ

まもなく、クリニックの母屋の改修が完成し、5月より利用していただけます。クリニックと別の玄関があり、患者会や家族会などの集会所スペースや、相談や語らいの場所になれば幸いです。まずは、つどい場として、気楽に覗いてください。色々な使い方の智慧も、お貸しください。当面は、介護保険などの利用はせず、民家としての運用になります。



在宅での胃瘻を考える

伊勢地区医師会の在宅医療委員会が主催して、NHKクローズアップ現代で、取り組みが取材された金沢市の医師、小川滋彦さんを講演にお呼びします。

「胃瘻の安全管理と地域連携」

平成22年5月23日(日) 14時

伊勢シティホテル

医師以外の、胃瘻関係者の方の参加も可能です。(くわしくは、当院にお問い合わせください)

足りないのは、コミュニケーション能力!

生と死を考える市民の会の、

本年の講演は、町永俊雄アナに講師をお願いしました。

「つながる工夫、支える力」

テレビを通して考えた福祉社会

平成22年7月10日(土) 13時から

三重県総合文化センター フレンテみえにて

チラシと前売りチケット800円は当院で。



私たちの「いのち」の意味を考えよう

「終わりよければ」いせの会の市民講座のチラシが出来ました。ぜひ詳細をご参照ください。

8月1日(日) 13時から、神宮会館

「いのちの対話」 柏木哲夫・内藤いづみ

ハガキ申し込み制で500円です

前日夕から宿泊での研修(裸の体験など)が企画されています。このオプションも申し込み制です。

5月の連休の休診のお願い

5月1日(土) 通常開院

2日(日) 6日(木) 休診

7日(金) 通常開院

よろしく、お願いします。

  
いせ在宅医療クリニック  
Ise home care clinic

自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805

三重県伊勢市御園町高向 927

電話 0596-20-8104

ファクス 0596-20-8105

mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)

<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>